古仏の素顔 ―X線ＣＴスキャナを使った仏像調査の成果―

1　仏像の調査と展示

仏像は、それぞれの時代それぞれの土地の、信仰や美意識、造形技術の結晶です。信仰の場においてはもちろん、文化財の世界においても、かけがえのない存在だと言うことができます。九州歴史資料館では、仏像を通して九州の歴史や文化を明らかにするために、九州各地の寺社等をめぐって、仏像の調査を進めています。そしてその成果を、研究論集をはじめとする刊行物で公開しています。

さらには、本当は現地で拝観（はいかん）するのが一番なのですが、所蔵者のお許しを得て、展示室で展示をさせていただくこともあります。信仰文化とそれが生み出した造形のすばらしさを、より多くの方に知っていただきたいからです。実物と向き合うことは大切なことです。写真はその影に過ぎませんし、解説文の内容も、一側面を照らすのみです。それらは、実物に近づくための、手段にすぎません。ただしかし、古い仏像の場合、実物の前に立っても、そのままではその素顔を見ることができない場合もあります。後世の修理で覆（おお）われている場合などです。ここで紹介する仏像が、まさにその好例です。

2　金色の仏像

展示ケースの中で金色燦然（こんじきさんぜん）と輝く如来形坐像（にょらいぎょうざぞう）は、一見新しいもののようですが、しかしよく見ると、古い仏像の特徴をいくつかもっています。小さな像なのに、がっしりと太づくりな、堂々たる体形をしています。正面から見ると、ずんぐりと小山のようで、顔や体は奥行きがあって分厚く、肩や胸や腹、坐禅の形に組んだ足などの、肉づきは丸く盛り上がっています。背中をぐっと反らすような姿勢には、力強さが感じられます。そうして造り方は、一本の材木から、両手先等の細部を除く全てを彫り出しているようで、干割（ひわれ）防止等のために像の内部を刳（く）り抜く、内刳（うちぐり）も行っていません。

このような体形や体勢、そして内刳がないという、一木造（いちぼくづくり）の中でも古式な造り方は、平安時代前期の作例の特徴を見せています。新しく見えるのは、近年の修復で新しく塗られているからです。修復は、造ることと同じくらい大切です。多くの仏像の場合、材質自体は木ですから、折にふれ修復をしなければ、長い時を越えることはできません。ただとはいえ、修復によって、当初の姿が窺いがたくなる場合はあります。伝統的な材料と技法による修復の場合は問題は少ないのですが、新しい材料を使った修復の場合は、見かけの問題だけではなく以後の保存の面でも、問題が起きることが少なくはありません。

如来形坐像（個人蔵）
像高 25.7㎝　針葉樹材　一木造

3　秘められていた姿

像が金色をしていること自体は、経典の記述にならうもので、古い仏像でも、もともとはこのように、金色をしていた場合は多いのです。ただしこの像の現状は、古来の、漆(うるし)で金箔(きんぱく)を貼った漆箔(しっぱく)や、金粉(きんぷん)を膠(にかわ)でといて塗った、伝統的な金泥塗(きんでいぬり)ではなくて、金色の塗料を分厚く塗ったものです。また彫刻表現とはあまり関係なく、目や眉を描いたりしているために、ずいぶん当初の姿とは、印象が異なるものになっています。従来ならばその素顔は、次の修復を待って確認するしかありませんでした。どのような修復であれ、やはりそれも像の歴史には違いありませんし、修復の依頼者の心を考えると、ただちに排除することも躊躇(ちゅうちょ)されます。その心こそが、古像を今に至るまで伝えてきた、原動力だからです。しかしそのような中、新たに導入された文化財用のX線CTスキャナが、現状を変更することなく、古仏の素顔を明らかにしてくれたのでした。

機械の眼は、損傷のために継ぎ足された個所や、彩色の下の朽ちた部分、木目の様子等々、肉眼では見られないものを映し出してくれました。そして、塗料の下の彫刻表現まで、ありありと浮かび上がらせてくれたのです。調査で浮かび上がってきたのは、森厳(しんげん)な表情をもち、鋭く厳しい彫口を見せる仏像の姿でした。先の、体形や体勢、構造に加えて、このような表情や彫口を併せ考えると、この像はやはり平安時代前期の作で、それも9世紀にまで造像が遡る可能性があります。この解説シートを参考に、秘められた古仏の素顔と、向き合っていただければと思います。　　（学芸調査室　井形　進）

詳しくは『九州歴史資料館研究論集』36所収の「福岡県久山町の個人蔵の古仏」を御参照ください。

如来形坐像　CT画像

編集　　発行：平成23年3月31日

九州歴史資料館
KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

〒838-0106　福岡県小郡市三沢5208-3
TEL 0942-75-9575　FAX 0942-75-7834
URL http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/kyureki/